

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	2 2 1	学校名	仙台市立郡山中学校	校長名	八巻 竜一
------	-------	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ「郡中生 生活に根差した環境保全活動」



2 取組の紹介

(1) ゴミの分別

一般ごみとプラスチックごみの分別がしっかりとできない日が続いていた中で、ごみの確実な分別を目的とし、教室の一般ごみとプラスチックごみのごみ箱の明確化（色や大きさを分かりやすく）、ごみ倉庫等のプラスチックごみ分類の表示、啓蒙用 SDGs アイコンの表示（使う責任を持って分別まで）に取り組みました。

(2) 花壇の整備

美化委員会を中心に年に2回、花の植え替え作業を行っています。今年度も春に花壇の土作りをし、夏にマリーゴールドやケイトウの花植えを行い、秋にパンジーやビオラの花植えを行いました。10月には郡山遺跡の花壇にも花を植え、今年は花で文字を作成するなど地域の方と連携して活動しました。定期的に花壇を整備することで、ごみを捨てづらい地域環境を作ることに寄与しています。

(3) 環境と生活について考える活動

授業において環境の保全のためにどのような取組があるか考えました。例えば、2年生理科においてCO₂排出量と温暖化予測について、3年生理科においてはマクロプラスチック被害について考えました。温暖化の主原因であるCO₂やマイクロプラスチックの削減に向けて、生活の中で何ができるのかを考えました。以下、考えの一部です。

- ・使用しない教室や部屋の電気を消す。
- ・衣類で体温調節する。（エアコンの使用を最低限にする。）
- ・プラスチックごみをポイ捨てしない。（そもそも使用しない。）
- ・分別を徹底して再利用できる量を増やす。

3 取組の成果（児童生徒の変容）

自らの生活に根差した（目に見える・感じられる）活動をすることで、一人一人の意識を高めることができました。地球規模の大きな事象も、身のまわりの小さなことからこつこつと変えていこう、変えていけるという意識を高めていきたいと思います。今後も学校と地域とのつながりを大切にしながら、生活に根差した活動を継続させたいと考えています。

